

## 1. 主たる業種別労働災害発生状況(1月～12月)

休業4日以上 の死傷者数 (うち死亡者数)	令和元年		平成30年同期		令和元年と平成30年の比較		
					増減数		増減%
全産業	2,432人	(17人)	2,589人	(23人)	-157人	( -6 人)	-6.1%
製造業	465人	(1人)	502人	(4人)	-37人	( -3 人)	-7.4%
建設業	352人	(7人)	336人	(7人)	16人	( 0 人)	4.8%
陸上貨物運送事業	349人	(2人)	350人	(5人)	-1人	( -3 人)	-0.3%
林業	26人	(1人)	32人	(1人)	-6人	( 0 人)	-18.8%
第三次産業	1,133人	(5人)	1,258人	(5人)	-125人	( 0 人)	-9.9%
商業	436人	(0人)	467人	(2人)	-31人	( -2 人)	-6.6%
小売業	324人	(0人)	329人	(2人)	-5人	( -2 人)	-1.5%
社会福祉施設	208人	(0人)	203人	(0人)	5人	( 0 人)	2.5%
上記以外の業種の合計	107人	(1人)	111人	(1人)	-4人	( 0 人)	-3.6%

○休業4日以上  
の死傷者数 (うち死亡者数)

発 生 年	平成30年(1～12月)	平成29年(1～12月)	増減数	増減%
休業4日以上 の死傷者数 (うち死亡者数)	2,589人 (23人)	2,385人 (17人)	204 ( 6 人)	8.6%



### 3. 労働基準監督署別労働災害発生状況(1月～12月確定)

#### ○監督署別(1月～12月)

	令和元年	平成30年同期	令和元年と平成30年との比較	
			増減数	増減%
休業4日以上 の死傷者数 (うち死亡者数)	2,432人 ( 17 人)	2,589人 ( 23 人)	-157人	-6.1%
仙台署	1,458人 ( 9 人)	1,564人 ( 8 人)	-106人	-6.8%
石巻署	364人 ( 5 人)	382人 ( 7 人)	-18人	-4.7%
古川署	290人 ( 0 人)	284人 ( 4 人)	6人	2.1%
大河原署	182人 ( 2 人)	194人 ( 1 人)	-12人	-6.2%
瀬峰署	138人 ( 1 人)	165人 ( 3 人)	-27人	-16.4%

#### ○年別の労働災害発生状況(1月～12月)

発 生 年	平成30年	平成29年	増減%
休業4日以上 の死傷者数 (うち死亡者数)	2,589人 (23人)	2,385人 (17人)	8.6%



## 5. 死亡災害概要

＝東日本大震災復旧作業

番号	発生年月	事故の型	業種	災害の内容
	時間帯	起因物	労働者数	
1	H31.2	墜落、転落	土木工事業 (3.1.11)	防潮堤工事現場において、高さ約5mの防潮堤の上に設置された仮設足場に乗る、天端仕上げ作業の準備中、強風により当該足場と共に墜落し、数日後に死亡した。
	10時頃	足場	1～9人	
2	H31.2	交通事故 (道路)	一般貨物運送 事業(4.3.1)	公道脇にある小売店の駐車場でトラックにタイヤチェーンの装着作業を行っていたところ、公道を走行していたトラックが凍結した路面でスリップし、激突した。
	7時頃	トラック	50～99人	
3	H31.2	交通事故 (道路)	通信業 (11.1.1)	作業の下見のため、県道交差点を自転車で走行中、左側から走行してきたトラックに衝突された。
	15時頃	トラック	100～199人	
4	H31.3	おぼれ	警備業 (17.2.1)	社有車で街灯のない港の巡回警備を行っていたところ、社有車ごと海に転落し運転手が溺死した。
	3時頃	乗用車	200～299人	
5	H31.4	激突され	林業 (6.2.9)	民家裏山において立木(直径約40cm)の伐採作業中、林業用重機で立木を押し倒したところ、立木付近にいた被災者に立木が激突した。
	15時頃	伐木等機械	1～9人	
6	H31.4	墜落、転落	木造家屋建築 工事業 (3.2.2)	雨どいの設置工事の為、高さ約5mの屋根上で作業を行っていたところ墜落した。
	11時頃	屋根	1～9人	
7	H31.4	激突され	土地整理土木 工事業 (3.1.9)	宅地の地ならし作業中、ドラグショベル付近にいた被災者が後退してきたドラグショベルに轢かれた。
	10時頃	掘削用機械	1～9人	
8	R1.5	墜落、転落	木造家屋建築 工事業 (3.2.2)	高さ約4mの梁上で、梁間につなぎを入れようと片足をつなぎに乗せた状態で、掛矢でつなぎを打ったところ、つなぎがホゾからはずれ、つなぎもろとも墜落した。
	13時頃	はり	1～9人	
9	R1.5	激突され	製鉄・製鋼・ 圧延業 (1.10.1)	門型クレーンで、荷の移動作業を一人で行っていた被災者が、架台の上で荷の下敷きとなった。
	13時頃	クレーン	300～399人	
10	R1.7	激突され	土木工事業 (3.1.11)	ドラグショベルでの土砂掘削作業中、掘削作業の指示者が海中の掘削箇所を確認するためにショベルの旋回範囲内に進入(潜水)し、バケットが被災者に激突した。
	8時頃	掘削用機械	1～9人	
11	R1.7	交通事故 (道路)	一般貨物運送 事業(4.3.1)	建設現場に工事資材を運搬したダンプトラックが、帰社途中に民家のブロック塀に激突した。
	3時頃	トラック	10～49人	
12	R1.7	墜落、転落	その他の事業 (17.2.9)	建屋4階の網戸取り付け作業中、誤って転落した。
	6時頃	建築物、 構築物	10～49人	

番号	発生年月	事故の型	業種	災害の内容
	時間帯	起因物	労働者数	
13	H31.4	交通事故 (道路)	警備業 (17.2.1)	建設工事現場の警備業務に向かうため乗用車で国道を移動中、交差点で信号を右折しようとした際に、対向車線を直進してきた軽ワゴン車と衝突し、後部座席に乗車していた被災者が死亡した。
	6時頃	乗用車	1～9人	
14	R1.9	交通事故 (道路)	農業 (6.1.1)	高速道路の料金所から本線に向かっていた2tトラックが、カーブで横転し、中央分離帯のガードレールと対向車線を走行していた軽トラックと衝突した。(2tトラックの運転手が死亡)
	15時頃	トラック	1～9人	
15	R1.10	墜落、転落	河川土木工事業 (3.1.7)	台風19号通過後の現場状況の確認のために、現場内の仮設工事用道路を車で走行していたところ、増水により崩壊・陥没した仮設工事用道路から車ごと河川に落下した。
	9時頃	地山、岩石	10～49人	
16	R1.12	激突され	清掃業 (15.1.3)	廃棄物処分場内で廃棄作業の準備を行っていたところ、後退してきたグラップルに轢かれた。
	15時頃	解体用機械	10～49人	
17	R1.12	崩壊、倒壊	鉄骨・鉄筋コンクリート造建築工事業 (3.2.1)	つり上げ荷重80tの移動式クレーンで、重さ約10tのつり荷を作業構台から移動するために吊り上げ、旋回したところ、移動式クレーンが横転し、クレーンブームが、現場敷地内に駐車していた車両数台に直撃した。(死亡1名)
	8時頃	移動式クレーン	10～49人	